

加登脇建設 株式会社

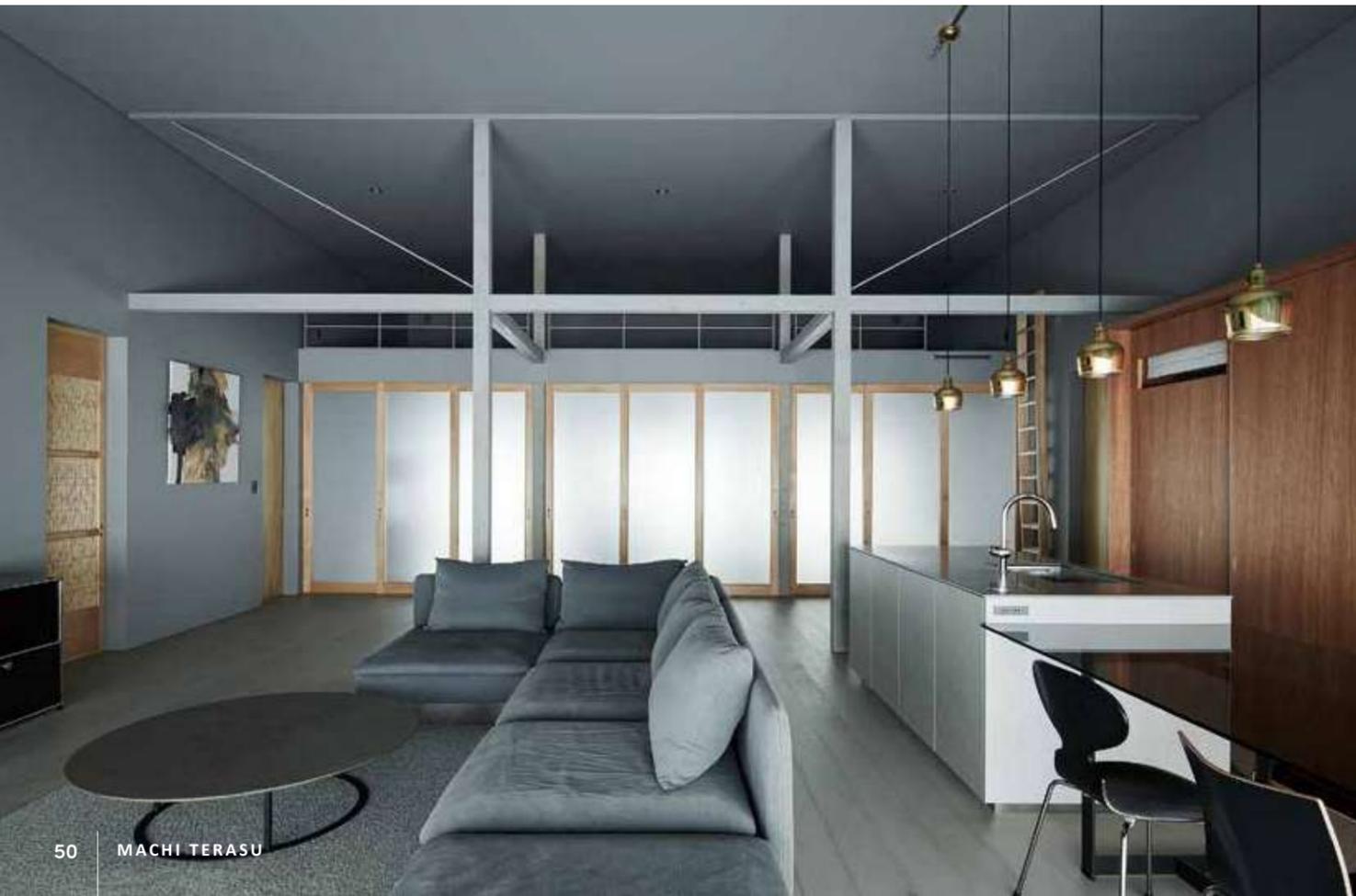
加登脇建設は、代々続いてきた土木関連の公共工事に加え、住宅や店舗のデザイン、設計施工などの民間工事と様々な事業を手掛けている建設会社。近年では、目を引くデザインや確かな技術力が SNSを通じて伝わり、山陰のみならず県外や海外のお客様との仕事も増えています。この加登脇建設が生み出すセンスある住宅は、鳥取の地で50年以上続く老舗の建設会社が、新しいことに挑戦していきたいと変化を求めている証拠でもあります。先代の気持ちを受け継ぎながらも若きリーダーが牽引した加登脇建設からは、自分たちの仕事に誇りを持ち、生き生きと働く様子や、若者を大切にしている優しさを感じ取れました。この加登脇建設らしい雰囲気は、皆さんの印象とは少し違う建設業の側面を見せてくれるはずです。



県内でも指折りの
技術集団が実現する
自慢したくなるおうち

no 17

Writer : Tasaka Hinako



唯一無二のシゴトを、鳥取から発信したい

専務取締役 加登脇慎一さん

当社の専務取締役に就任する前は、大阪の建設会社・設計事務所に在籍し、公共から民間まで、様々な施工案件に携わっていました。温泉施設やスポーツクラブ、ホテルといった多種多様な施工の経験が、現在にも役立っています。私が会社に戻って最初に着手したのは、公共工事案件に依存した会社体制の改革です。そもそも人口の少ない鳥取では、数少ない公共工事を待っているだけでは会社の成長が鈍化してしまいます。そこで、近年は他社と違う取り組みをアピールしながら、民間工事を着々と増やしています。一般のお客様を相手にする民間工事は、限られた予算の中で、どこまでお客様の理想に近い提案ができるかを試される場でもあります。予算の要望に応えながら、公共工事とは違う自由度を楽しんで、お客様と一緒に作り上げていくのが民間工事の醍醐味ですね。また、若手社員採用にも力をいれています。若手や未経験者の方でも活躍できるように、全社員でフォローする体制を



構築しました。最近では社員の紹介で入社する方が増えており、「いい会社だから、うちと一緒に働かない?」と知り合いを誘っている社員の姿は、良い環境を作れているという実感につながっています。今後も、働く社員が魅力を感じ続けられるような会社を目指していきます。

Interview

社員さんインタビュー



土木部 城田さん (入社3年目)

鳥取の短大を卒業後、ものづくりに関わる仕事がしたいと思っていたので新卒で入社しました。若い専務がリーダーシップを持って新しいことにチャレンジしているので、若手でも意見が出しやすく、働きやすいです。将来的には現場監督の仕事ができるように、今は見習いとして現場での作業に取り組んでいます。普段の仕事では自分より上の年代の人と働くことが多いですが、日々教わりながら、休憩中は雑談で盛り上がっています。最初は体力面できついこともありましたが、半年を経て少しずつ変わってきました。体力も知識も徐々に慣れていくので安心して下さい。



建築部 杉本さん (入社2年目)

私は美容系の専門学校を卒業した後、美容師、介護施設の事務員の仕事をを経て、未経験で入社しました。始めは右も左もわからないまま、必死に仕事を覚えていた記憶があります。建設業界は3K(キツイ・汚い・危険)のイメージと聞いていましたが、実際はそんなことはありません。先輩方が丁寧に仕事を教えてくれますし、労働環境も整備されているので、新3K(給与・休暇・希望)が望める仕事だと思っています。急な子供の体調不良や学校行事等の休みの申請も快く受け入れてくれるので、小さい子供達と暮らしている私はとても助かっています。社内には年齢の近い若い社員や子育てしている世帯も多い事で話題も合いやすく、とても過ごしやすい会社だと思っています。

Company Data

業種：土木工事業・建築工事業・とび・土工事業・管工事業・ほ装工事業・水道施設工事業など
設立：1975年
従業員数：18名(令和3年1月現在)
代表：加登脇孝彦
場所：鳥取県東伯郡琴浦町徳万362番地
<https://kado-ken.jimdo.com/>



◀MACHI TERASUのWEBページ

SNSを通じて、全世界にカドワキファンが急増中!?



カドワキケンセツのInstagramでは、住宅内部の様子やリフォーム事例などを紹介。センスが光る投稿は、国内だけでなく海外の方にもフォローされるほどで、投稿を見たお客様から建築依頼などのDMが届くそうです。Instagramの発信を担当する専務は、現在スペイン語を勉強中。世界中にカドワキの魅力をお届けします!

トーハク解体 有限会社

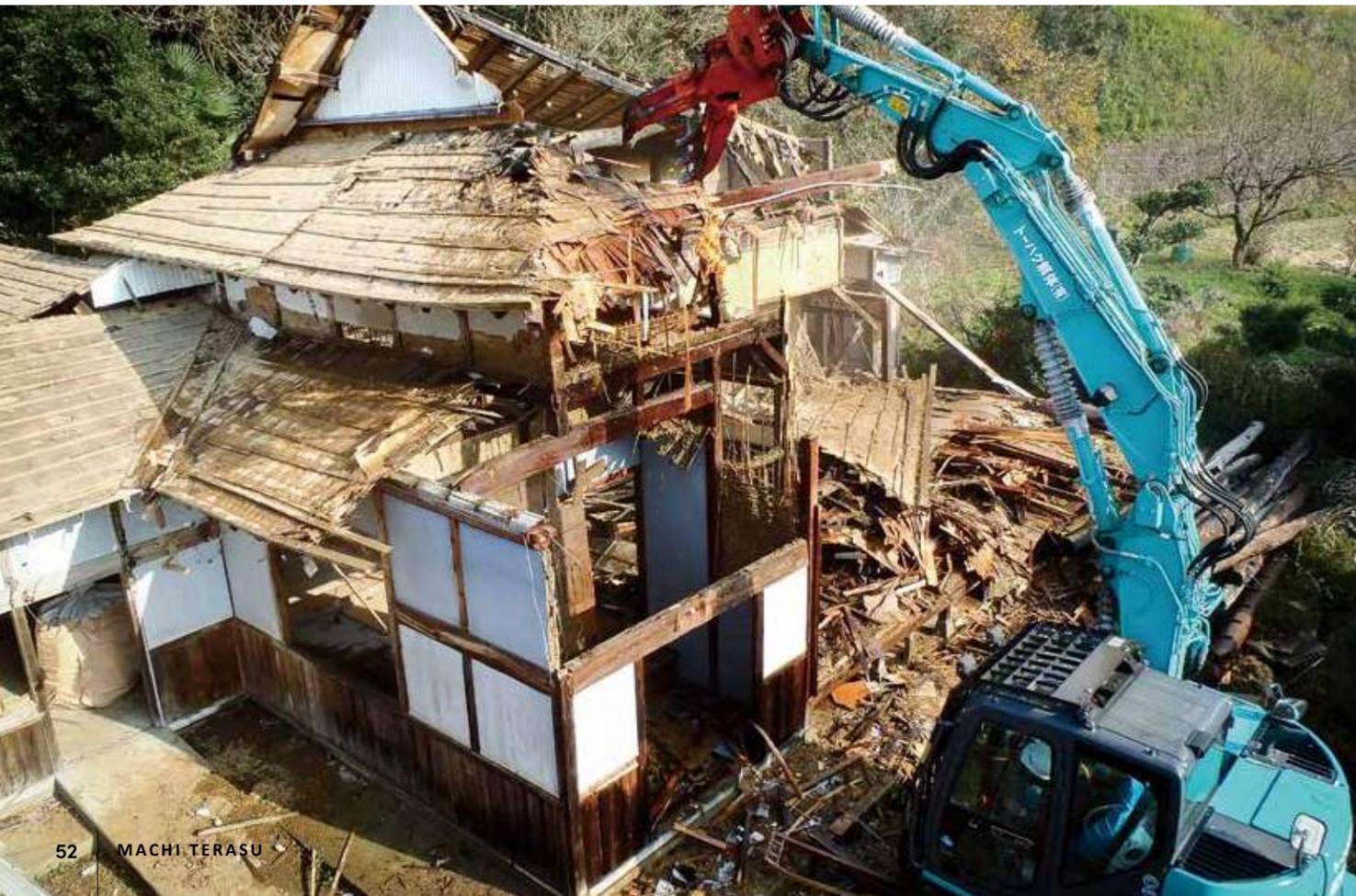
新しい建築物を建てる場合、既に建っている古い建物は壊さなければいけません。そんな時は「解体」の出番です。トーハク解体が手がけるのは、個人の住宅から、橋や大型施設といった公共の建物まで様々。建物を作るのとは逆の順序で、大型の機械と手作業を組み合わせながら安全に建物を壊していきます。「立つ鳥跡を濁さず」の精神で、建物を解体して終わりではなく、解体後の廃棄物処分・リサイクル、作業後の道路の清掃まで抜かりなく行います。専門知識を身に付けながら困っている人の役に立つ、そんな魅力を持った解体の仕事に挑戦してみませんか？



影の立役者
壊す先を見据える

Writer: Tasaka Hinako

no 18



お客様に心から喜んでいただける解体を

代表取締役 加登脇孝彦さん

トーハク解体の一番の特徴は、「クリーンな解体工事」です。解体後の更地を見ると一目瞭然。ゴミ一つ落ちていないのはもちろん、作業車が通る道路も徹底的に綺麗にして作業を終えます。私たちは、建物を解体するだけでなく、その一段上のレベルでお客様に喜んでいただける解体を目指しています。また解体する建物は、お客様の思い出が詰まった大切な場所でもあります。そうしたお客様の気持ちを汲み取って、ただ壊すのではなく、解体の過程を写真に残してお渡しすることもあります。解体と一口に言っても、ただ壊すだけではないのです。解体の仕事には危険が伴う場合もあります。そのため当社では、しっかりと必要な技術と知識を身に付け、他の作業員と協力して作業にあたることで事故のない安全な解体に取り組んでいます。現場ではベテラン社員が安全第一に見守っているのも、若手のうちからどんどんチャレンジしてください。



Interview

社員さんインタビュー



営業部 林原さん（入社6年目）

解体工事の営業業務を担当しています。建設会社・工務店への営業活動や、個人のお客様との打ち合わせのほか、解体を行う際に必要な書類の申請業務も行っています。解体工事は、建物を作る反対の作業になるので、お客様がイメージしにくいことが多いです。そのため、図面や見積もり、解体のスケジュールや必要な工程を丁寧に説明することがとても重要です。時間がかかることもありますが、お客様に心から納得してもらえたときは、営業として大きなやりがいを感じます。営業の目的は、最前線に立って商品売り、利益を生むことです。お客様の要望に応えながら、自分たちの会社の強みや信念を伝え、自分の人柄で売り込んでいく「営業」の仕事はおもしろいですよ！



工事部課長 前田さん（入社14年目）

普段は解体現場で作業をしながら、作業人員の調整や機械の手配を担当しています。建物の解体と言うと、埃や振動、騒音のイメージがつきものです。しかし実際は、使う機械も進化していて、音を極力出さない解体も可能になっています。ご近所の方に迷惑をかけることなく、安全に解体を終えて更地にした後、お客様から「綺麗に仕上がったありがとう」と言われることは大きなやりがいです。解体の仕事は、建物を壊すというゴールまでに何通りもの方法があります。自分で勉強しながらそのプロセスを考えて、綺麗に解体できたときは大きな達成感があります。勉強すればするほど、自分の成長も感じられるのがこの仕事の醍醐味だと思います。

Company Data

業種：解体工事・土木一式工事・建築一式工事・足場とび土工事 など
 設立：1999年
 従業員数：21名（令和3年1月現在）
 代表：加登脇和子
 場所：鳥取県東伯郡琴浦町徳万362番地
<https://tohaku-kaitai.jimdofree.com/>



◀MACHI TERASUのWEBページ

工夫を凝らしたオリジナル道具とは？



解体現場では、病院やホテルなど埃を出せない場所も多数あります。そこで活躍するのは、作業員手回りの道具たち！ある解体現場では、廃材を運ぶ際に一切ゴミを落とさないように、蓋付きの箱を自作で取り付けたオリジナルの台車が活躍したとか。日々アイデアを出しながら、ベストな解体方法を模索しています。